

3. 平成 18 年 3 月期 第 1 四半期 財務・業績に関する定性的情報等

(1) 経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等

当四半期の連結売上高(営業収益)は、卸電気事業(当社)の火力発電所の高稼働及びその他の電気事業では新規連結した(株)ベイサイドエナジー(平成 17 年 4 月運転開始)の売上を計上したこと等により、前年同四半期に対し 6.5%増加の 1,447 億円となり、営業外収益を含む四半期経常収益は、前年同四半期に対し 6.8%増加の 1,465 億円となりました。

一方、営業費用は人件費、修繕費等の減少はあったものの、火力発電所の高稼働による燃料費の増加、松浦火力発電所及び橘湾火力発電所の減価償却の方法の変更による減価償却費の増加等により前年同四半期に対し 5.9%増加の 1,144 億円となりました。また、営業外費用については、支払利息の減少等により前年同四半期に対し 10.1%減少の 69 億円となり、四半期経常費用は前年同四半期に対し 4.8%増加の 1,213 億円となりました。

以上により、四半期経常利益は前年同四半期に対し 17.7%増加の 252 億円となり、湯水による湯水準備引当金の取崩し等を行った結果、四半期純利益は前年同四半期に対し 16.8%増加の 158 億円となりました。

なお、事業の種類別セグメントの業績(セグメント間の内部取引消去後)は次のとおりです。

(電気事業)

当四半期の卸電気事業(当社)の販売電力量は、水力・火力合計で前年同四半期に対して 6.7%増加の 135 億 kWh となりました。水力は、前年同四半期の豊水に対して当四半期は湯水(出水率 114% 87%)となり、25.0%減少の 25 億 kWh となりました。火力は、発電所の高稼働により、前年同四半期に対し 18.0%増加の 110 億 kWh となりました。

また、その他の電気事業の販売電力量は、前年同四半期の糸魚川発電(株)、仁賀保高原風力発電(株)及び(株)グリーンパワーくずまきに加え、当四半期は市原パワー(株)及び(株)ドリームアップ苫前他風力発電会社 3 社の通期稼働による増加、また、当四半期より新規連結した(株)ベイサイドエナジーの販売電力量により、その他の電気事業合計で 4 億 kWh となり、電気事業合計では、前年同四半期に対して 8.9%増加の 139 億 kWh となりました。

当四半期の電気事業営業収益は、卸電気事業(当社)の火力発電所の高稼働及びその他の電気事業の市原パワー(株)及び(株)ドリームアップ苫前他風力発電会社 3 社の通期稼働による増収、新規連結した(株)ベイサイドエナジーの売上等により前年同四半期に対して 4.7%増加の 1,365 億円となりました。

一方、電気事業営業費用は人件費、修繕費等の減少はあったものの、卸電気事業(当社)の火力発電所の高稼働による燃料費の増加、松浦火力発電所及び橘湾火力発電所の減価償却の方法の変更による減価償却費の増加及び新規連結した(株)ベイサイドエナジー他その他の電気事業の営業費用の増加等により前年同四半期に対して 4.4%増加の 1,049 億円となりました。

(その他の事業)

当四半期のその他事業営業収益は、当社の附帯事業営業収益の減少があったものの、連結子会社のグループ外売上の増加により前年同四半期に対して 48.9%増加の 82 億円となりました。

一方、その他事業営業費用は当社の附帯事業営業費用の増加及び連結子会社のグループ外売上の増加に伴う売上原価の増加等により前年同四半期に対して 25.6%増加の 95 億円となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等

当四半期末の資産につきましては、固定資産は当四半期より新規連結した(株)ベイサイドエナジー及び(株)グリーンパワー瀬棚による増加等がありましたが、減価償却の進行による減少等により前連結会計年度末から158億円減少し1兆8,742億円となりました。これに流動資産を加えた総資産は前連結会計年度末から94億円減少し2兆122億円となりました。

一方、負債につきましては、借入金の返済等により前連結会計年度末から168億円減少し当四半期末の負債総額は、1兆6,123億円となりました。このうち、有利子負債額は前連結会計年度末から35億円減少し1兆4,945億円となりました。

また、当四半期末の資本合計は、前連結会計年度末から75億円増加の3,988億円となりました。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報等

当四半期末における現金及び現金同等物の残高は、営業活動により292億円の収入がありましたが、固定資産の取得などの投資活動として128億円及び財務活動として129億円の支出となり、前連結会計年度末残高302億円及び新規連結による増加額4億円等を加えた当四半期末残高は341億円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、卸電気事業(当社)の火力発電所の高稼働等による営業収益の増加並びに減価償却の方法の変更による減価償却費の増加等がありましたが、仕入債務の減少及び法人税等の支払額の増加等により前年同四半期に比べ33億円(10.2%)減少の292億円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、大間原子力の建設工事及び当四半期より新規連結した(株)ベイサイドエナジーの建設費の増加及びCBK水力プロジェクトへの出資等により前年同四半期に比べ27億円(27.1%)増加の128億円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金等の返済による支出の増加等がありましたが、社債の発行による収入等により前年同四半期に比べ77億円(37.4%)減少の129億円の支出となりました。